

水資源および公衆衛生の問題の改善

本分野における活動方針

クリタグループは、[Water Resilience Coalitionの取り組み](#)を含め、河川・湖沼等の淡水資源や海洋における問題に対し、必要に応じた支援を行い、問題の改善に努めます。また、水・衛生の問題に直面する人々に対し、衛生設備の新設・修復等に関する支援を通して、水アクセスの改善や感染症の拡大防止等に寄与します。

2021年度の実績

水・衛生設備の新設・修復などに関する支援

特定非営利活動法人Reach Alternatives（REALs）

当社は、2018年度から継続して、同団体に支援金を拠出し、南スーダン共和国の首都ジュバ市にあるマンガテン地区国内避難民キャンプにおいて、紛争や災害による被害を受けた人々を支援しています。

2021年度は、水および衛生環境の改善のため、トイレ補修や井戸修復、手洗い場の設置、設備メンテナンスや紛争予防の研修、および新型コロナウイルス感染症の感染予防対策物資の配布・衛生研修を行いました。

2022年度は、清潔な水を利用し衛生的な環境で生活するためのトイレ補修・整備活動、および女性や子どもが夜間でも安心して設備を利用するための安全灯の設置を行う予定です。



マンガテン地区国内避難民キャンプ内の補修した井戸を使用する様子

特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン

当社は、2018年度から継続して同団体に支援金を拠出してしています。

2021年度は、同団体を通じてエスワティニ王国（旧スワジランド）のホ木県において、井戸を掘削し、手押しポンプを設置したほか、新型コロナウイルス感染症予防として石鹸による手洗いを可能にする衛生キットを配布しました。

2022年度は、同団体を通じてインドのウッタール・プラデシュ州ウナオ県における水質管理・排水管理強化プロジェクトを支援し、地下水など水資源の問題の改善を行う予定です。



ホ木県に完成した井戸を使用する様子
(WaterAid Eswatini)

次世代の育成

本分野における活動方針

クリタグループは、次世代を担う児童・生徒・学生に対し、体験型学習イベントの実施、出前授業の提供、コンテストへの協賛等を通して、水に関する問題意識の醸成と科学に対する興味・関心の喚起を図ります。

2021年度の実績

コンテストへの協賛

第19回 高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC2021）

高校生・高専生科学技術チャレンジ（以下、JSEC）は、株式会社朝日新聞社が2003年から主催している科学技術のコンテストです。当社は2019年よりJSECに協賛し、2021年度は群馬工業高等専門学校の岩佐茜さんの研究「水溶液のpH差を利用した水の低電圧電気分解によるエネルギー創成」に対し「栗田工業賞」を贈呈しました。

副賞としての交流会は、Kurita Innovation Hub（KIH）とクリタR&DアジアPte.Ltd.、群馬工業高等専門学校をオンラインで結んで開催されました。交流会では、受賞者の岩佐さんが国際大会ISEF※1の事前練習として英語でプレゼンし、クリタグループの研究者は企業視点で質問するなど、議論を深めました。その後、岩佐さんは、日本代表として5月4日～13日までオンラインで開催されたISEFにて研究発表を行い、文部科学大臣特別賞を受賞されました。



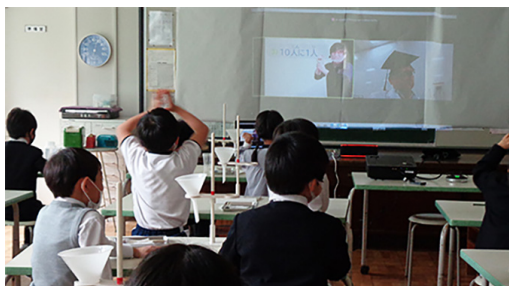
「栗田工業賞」を受賞した群馬工業高等専門学校の岩佐茜さん

※1 ISEF（International Science and Engineering Fair）：アメリカの非営利団体 Society for Science & the Publicが主催する、60以上の国・地域から約1,800人の高校生が集い、科学に関する自由研究を競う世界最大級の国際大会。

出前授業

放課後NPOアフタースクールの「水の大切さを学ぶオンラインプログラム」

当社は、特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクールとともに、小学生が「水の大切さ」について体験しながら楽しく学べるオンライン型プログラム「水博士と世界を救え！ワクワクろ過実験にチャレンジ」を9つの学童クラブで開催しました。参加した192名の子どもたちにとって、「水資源を大切にするために日常生活で何ができるのか？」を考える良いきっかけとなりました。



放課後NPOアフタースクールでの出前授業の様子

株式会社Barbara Pool（STEAM JAPAN）の「STEAM課題研究特別講座」

大分県教育委員会が、株式会社Barbara Pool（STEAMJAPAN）とともに同県の高校生を対象に実施している「STEAM課題研究特別講座」において、当社従業員が講師として参加しました。コロナ禍のためオンラインで開催された同講座では、JAXA宇宙ステーションでの水処理や水の大切さについて説明し、模擬実験を紹介しました。

受講した高校生からは「水の循環という面で、勉強になりました。良い循環ができれば、さまざまな面でロスが減ると感じました。」などの感想をいただきました。



被災地の復旧・復興

本分野における活動方針

クリタグループは、人々の生活と経済活動に大きな影響を及ぼす災害や紛争が発生した場合、必要に応じた被災地支援を行います。

2021年度の実績

クリタウォーターガッシュ昭島による「トンガ沖大規模噴火・津波」の被害に対する支援

当社ラグビー部「クリタウォーターガッシュ昭島」はリーグワン公式戦の試合会場にてトンガ王国支援募金を実施し、集まった募金を「トンガ沖大規模噴火・津波」によって被災された方々への救援や被災地の復旧に役立てるため、当社ラグビー部が所属する一般社団法人ジャパンラグビーリーグワンを通じて日本赤十字社に救援金として寄付しました。

地域コミュニティの活性化

本分野における活動方針

クリタグループは、地域の一員として、清掃、植樹、スポーツ大会等の地域活動への参加や支援を行い、地域コミュニティの活性化に寄与します。

2021年度の実績

「クリタウォーターガッシュ昭島」によるラグビー体験教室

当社ラグビー部「クリタウォーターガッシュ昭島」は、地域貢献の一環として、「ラグビー体験教室」を継続的に行っています。

2021度は、昭島市の中学1年生約150名を対象に、栗田工業昭島グラウンドにおいて、選手指導によるキックやスクラムの練習、タグラグビー※などを行いました。

参加した中学校の先生からは「昨年度に引き続き、体験教室を開催いただき、大変感謝している。来年度以降も継続してほしい。」と、感謝の言葉をいただきました。

※タグラグビー：ラグビーをもとに、年少者・初心者向けに危険性の低いルールに改めたものです。



ラグビー体験教室の様子

事業拠点における植樹活動

クリタグループは、事業拠点がある地域の美しい街づくりに貢献するため、植樹活動に取り組んでいます。

2021年4月1日、栗田工業（大連）有限公司の従業員57名で、大連工場の周辺地域において植樹活動を行いました。

参加した従業員からは「この植樹活動で、環境の改善に少し貢献ができました。」「何も無いところから始める幸せを味わうことができました。」といった感想が寄せられました。



栗田工業（大連）有限公司の従業員たちによる植樹活動の様子



植樹した樹木の現在の様子